

## ヒアリング調査からみた経営概況（企業の声）

### 【現在の景況感】

- 「どの業界を見ても、特段抜けだしているところもなく、良い状況とは言えない」(一般機械器具)
- 「自動車業界は完成車メーカーによって業況がまちまちであるが、昨年後半よりは景気は良くなっている」(輸送用機械器具)
- 「緩やかに悪くなっている感じがする。なんとか耐えている状態」(電気機械器具)
- 「自社の強みを生かした製品が好調」(プラスチック製品)
- 「景気は普通で横ばい。少子化による人口減少で国内需要が減る中、業種を問わず現状維持であれば満足できる水準」(食料品製造)
- 「従業員が2名減少したが、不況のため当面補充はしない」(銑鉄鋳物)
- 「不況とは言わないが、真ん中よりは下だという感覚」(印刷業)
- 「これまで色々な不況を経験しており、その経験からすれば、今は不況ではない」(百貨店)
- 「必要以上のものは買われない。また、高いものがたくさん売れている状況でもない」(スーパー)
- 「世界的に不況であり消費動向に響いている。見通しが悪い」(商店街)
- 「仕事がたくさんある状態である」(情報サービス)
- 「良いところは良い、悪いところは悪いとはっきりと分かれている」(建設業)

### 【売上・採算】

- 「特定の分野ということではなく、全体的に受注高が減少している」(一般機械器具)
- 「売上げは北米輸出向けの乗用車関係が増えている」(輸送用機械器具)
- 「自動車関連は受注が増えているが、他の業界からの受注が増えない」(金属製品)
- 「新しい機械を入れたため作業効率が上がっている」(プラスチック製品)
- 「大手メーカー向けの大型建機の部品が2年前の最盛期から約85%減少」(銑鉄鋳物)
- 「富裕層の消費は安定している」(百貨店)
- 「今まで苦戦していた衣料の売上げが増えた」(スーパー)
- 「仕事はある状態だが、人材とのマッチングがうまくいかずに受けられる仕事が限られている状態」(情報サービス)
- 「5%~10%程度採算は良くなっている」(建設業)

### 【今後の見通し】

- 「自動車業界は燃費不正やリコールの問題などが今後、連鎖的に出てこないか懸念している」(輸送用機械器具)
- 「不透明感から、見通しがわからない。売上げが上がる要因が見えない状態」(電気機械器具)
- 「海外が崩れるという話ばかりだと、日本にもその流れが来るのではないかと構えてしまう」(金属製品)
- 「取引先から新製品を受注している」(プラスチック製品)
- 「インバウンドや東京オリンピック開催決定の効果は伝わってこない。景気の先行きはどちらとも言えない」(食料品製造業)
- 「中国経済の減速、鉄スクラップの価格上昇などが気になる」(銑鉄鋳物)
- 「原油価格が上がってきており、原材料費が上がる懸念がある」(印刷業)
- 「為替の動きなどが直接商売に影響するわけではないが、心理的によくない印象を受ける」(百貨店)
- 「上向く材料が無く、先行きへの見通しが立てられない」(スーパー)
- 「来期はプラスになると見込んでおり、顧客の反応もマイナスになる様なものはない」(情報サービス)